

講義ユニット名	臨床腫瘍学	所属科目名	全身性疾患制御学
講義ユニット 責任者	ながた やすし 永田 靖	所属	放射線腫瘍学講座 (内線 6831)
		メール	nagat@hiroshima-u.ac.jp
講義ユニット コーディネーター	にしがち いくの 西淵 いくの	所属	放射線腫瘍学講座 (内線 6831)
		メール	ikuno@hiroshima-u.ac.jp
授業方法	講義形式。パワーポイントを使用して、スライドを呈示しながら進める。		
概要	臨床腫瘍学の基礎を総合的に講義する。総論に続いて放射線療法、化学療法、手術療法からなる現在の腫瘍性疾患の臨床を分野毎に詳説する。また、緩和医療と腫瘍病理学についても学ぶ。		
講義ユニットの 到達目標	腫瘍の定義を説明できる。 組織の再生と修復や肥大、増生、化生、異形成と退形成を説明できる。 良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明できる。 上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍の違いを説明できる。 腫瘍細胞の異型性と多型性を説明できる。 腫瘍と染色体異常の関係を概説できる。 局所における腫瘍の増殖、局所浸潤と転移を説明できる。 腫瘍発生に関わる遺伝的要因と外的因子を概説できる。 がんに関連する遺伝子（がん遺伝子とがん抑制遺伝子）の変化を概説できる。 抗腫瘍薬の薬理作用を説明できる。 悪性腫瘍の疫学を概説できる。 悪性腫瘍の予防（検診を含む）を概説できる。 腫瘍の細胞診と組織診の違いを説明できる。 腫瘍の画像診断を概説できる。 腫瘍の遺伝子診断を概説できる。 腫瘍マーカーの意義を説明できる。 悪性腫瘍の病期分類を概説できる。 悪性腫瘍の予後因子を概説できる。 腫瘍の集学的治療を概説できる。 腫瘍の手術療法を概説できる。 腫瘍の放射線療法を概説できる。 腫瘍の化学療法を概説できる。 腫瘍の生物学的療法を概説できる。 腫瘍における支持療法を概説できる。 腫瘍における緩和療法を概説できる。 腫瘍の診療におけるチーム医療を概説できる。 腫瘍の診療における生命倫理〈バイオエシックス〉を概説できる。		
講義日程	別紙日程表を参照のこと		
出席の取り扱い	出席状況把握システムにて毎講義出席をとる。 3分の2以上の出席がない場合は試験（本試験、追試験とも）の受験資格を与えない。		
評価項目	到達目標の達成度 （基本的理解と知識の応用）		
評価法	MCQ形式にて試験を行う。 本試験における合格基準は60点とする。ただし59点以下が多数名の場合は考慮する。		
推奨参考書	【購入を推奨する参考書】 講義録 腫瘍学（メジカルビュー） 【その他、学習に有用な参考書等】 臨床放射線腫瘍学—最新知見に基づいた放射線治療の実践（南江堂）		